

ギャラリー び〜た 友の会 NEWS

早いもので今年も12月を残すのみとなりました。今年は弊社創業50周年にあたり希望に溢れたスタートを切りましたが、コロナが世界中を脅かし、ツアー中止は勿論のこと、非常事態宣言と休業要請でギャラリーも休廊となる日々が続きました。7月からギャラリーは再開できたものの、現在のビルから退去が決まり、いよいよ今月で最後の展示となりました。最後までどうぞよろしくお願いいたします。

これまで、たくさんのかたにご愛顧、ご支援いただき誠にありがとうございました。名残を惜しむお声をたくさんいただき感謝にたえません。改めて厚く御礼申し上げます。



『ギャラリーび〜た』12月の展覧会情報

<休館日> 9日(水)、20日(日) ※B1のみ 6日(日)はお休み
12月22日(火)をもって一時休廊となります。



右近としこ 透明水彩画展
感動を求めて…

2020.12.2(Wed)・12.8(Tue)

本年、アメリカで最も歴史があり権威のあるAWS (American Watercolor Society) から2010年に続き2回目となる受賞をされ、ますますご活躍されている右近としこ先生の個展です。
コロナ禍での開催ですが、新しい展覧会の形を模索しながら、感染予防対策を実施し、またインターネットでも展示を行います。会場に足を運べる方、外出が難しい方、遠方の方にも展覧会を楽しんで頂ければ幸いです。

ギャラリーび〜た

12月2日(水)～12月8日(火) 1階

『右近としこ 透明水彩画展』

休館：なし 開館時間：11時～16時(最終日は15時まで)

本年、アメリカで最も歴史があり権威のあるAWS (American Watercolor Society) から2010年に続き2回目となる受賞をされ、ますますご活躍されている右近としこ先生の個展です。

コロナ感染予防対策として15人までの入場制限をさせていただく予定です。少しお待ちいただく場合がございますが、ご了承ください。

※ 今展は16時に終了し、最終日は15時までです。ご注意ください。

※ 12/3(木)は右近先生が不在となります。予めご了承ください。



「旅の目的地」右近としこ

右近としことスロヴェニアを描く 帰国展

2020年12月2日(水)～12月8日(火)
11:00～16:00(最終日は16時00分まで)【日曜休廊】

1階ギャラリーにて「右近としこ 透明水彩画展」を同時開催いたします。
あわせてご覧ください。

12月2日(水)～12月8日(火) B1

『右近としことスロヴェニアを描く 帰国展』

休館：日曜日 開館時間：11時～16時(最終日は15時まで)

昨年、右近先生とスロヴェニアに旅行された皆さんの帰国展です。
15名の楽しい思い出が詰まった力作で、今は行くことのできない風景をご堪能ください。

※ 今展は16時に終了し、最終日は15時までです。ご注意ください。

『ギャラリー び〜た』はスケッチ専門店、(株)トラベルプランが運営するギャラリーです



トラベルプラン 創業 50 周年記念
八田 稔 チャリティー展

2020 年の今年は、弊社の創業 50 周年と東京オリンピックの開催も重なり、特別な 1 年になる予定でした。しかし、コロナ禍で海外旅行にも行けず、移転を余儀なくされるなど、生涯記憶に残る 1 年となってしまいました。ギャラリーび〜たを一時休業するにあたり、弊社創業者の故 八田 稔 チャリティー展を 50 周年記念として開催させていただくことになりました。

弊社では世界の平和・安全と地球環境保護を願い、微力ながら毎年寄付をさせて頂いております。今年は十分な金額を寄付する事が困難なため、チャリティー展として開催し、収益金を寄付させていただく事にしました。懐かしくご覧頂ければ幸いです。

12月10日(木)～12月15日(火) 1階

トラベルプラン創業50周年記念

『八田 稔 チャリティー展』

休館：なし 開館時間：11時～16時

(最終日は15時まで)

創業50周年を記念し、世界の平和・安全と地球環境保護を
願いチャリティー展を開催いたします。微力ながら収益金を

寄付させていただき少しでもお役に立てればと思っています。弊社創業者であり、スケッチツアーの生みの親である故 八田 稔のモノトーンの世界を懐かしくご覧いただければ幸いです。

※ 今展は木曜日から始まります。ご注意ください。

※ 毎日16時に終了し、最終日は15時までです。



茅野吉孝 水彩展

2020
12.16
[Wed]
▼
12.22
[Tue]

12月16日(水)～12月22日(火) 1階

『茅野吉孝 水彩展』

休館：日曜日 開館時間：11時～16時

(最終日は15時まで)

日本水彩画会理事長の茅野吉孝先生の個展です。コロナ禍の外出自粛中に研究した技法による風景画を中心に静物や花の作品約30点を展示いたします。滲みがこちち良く

広がり、ゆったりとした画面構成の美しい風景が心に沁みます。どうぞ足をお運びください。

※ 今展は16時に終了し、最終日は15時までです。ご注意ください。

ギャラリーび〜た 一時休館に寄せて 井上 綾

この仕事をしていてよかった！と思うのは、皆さまの「楽しい！」や「嬉しい！」を間近で見られる、ということ。ギャラリーで展覧会をされる作家さんと来場されたお客様の笑顔が本当に素敵で、日々の励みになっていました。もともと極度の人見知りでしたが、仕事を通じて、お話をしたり、聞いたりすることがとても好きになりました。

私が学生時代に学芸員実習でお世話になったギャラリーは、人が自然と集まる場でした。当時はギャラリーや画廊というものに敷居の高さを感じていましたが、そのギャラリーにはホッとさせる空気と色々な作品や人との出会いがあって、帰るときにはいつも「来て良かった」と思ったものです。

自分がギャラリーの仕事に携わるようになってからは、「び〜たに行くとか何か楽しいことに出会えそうだから、とりあえず寄ってみよう！」そんな風に思ってもらえる場をすることを目標としてきました。どこまで実践できていたか分かりませんが、皆さまの楽しさの一助になれていたなら幸いです。

移転に伴い、ギャラリーという形ある空間は一時的にお休みとなりますが、人と人を繋ぐ場は、この先も提供し続けていきたいと思っています。先のび〜たNEWSでも簡単にお知らせいたしました。インターネットを使った展覧会や作品・作家の紹介、画集作成など、できることを模索中です。どうぞお楽しみに！

これまでギャラリーを支えてくださった皆さまに、お会いして直接お礼をお伝えする事が難しいところが残念ではありますが、この紙面をもちまして、精いっぱい感謝を申し上げます。またお会いする時まで、どうかお元気にお過ごしください。

び～た NEWS 最終号に際して 下芝 悟

2020年はコロナに翻弄された1年でした。コロナ騒ぎが無ければ10月にイタリアにご一緒させていただく筈でしたが、中止になって良かったかも?とも思っております。何しろ91歳にもなり、毎回添乗員と同行の皆さまに支えられて参加していたものですから・・。

び～た news への寄稿も最後となりました。きっかけは京橋に移転し、先代の八田稔社長が、展覧会情報を掲載した会報誌を作りたいとの事で、毎月文章を書いて欲しいと依頼されたのです。トラベルプランのお客さまは海外に出かけて絵を描く方々ですから、小生のような浅学菲才の輩が出る幕など無いとお伝えしたのですが、老化防止の薬にもなるから挑戦してほしいとの強い要望でおっかなびっくり、渋々始めました。今回で163号になりますが、よくも駄文をさらしたものだと思っております。び～た news 編集長の井上綾嬢は学芸員の資格をお持ちのその道のプロで、小生の原稿の添削をはじめ大変お世話になり、知的刺激とたくさんさんの知識を頂きました。

移転時にトラベルプランの画廊の名称が「旅」の読みを逆さにした「びた」から「び～た (Vita)」に。Vita はラテン語で命・人生・生活を意味する言葉だそうです。私事ですが2年余りに妻を亡くし、昨年アトリエがある有料老人ホームに入居したのですが、現在の住まいもラテン語を語源とする施設で、ラテン語つながりがあるなんて不思議だと思っております。

トラベルプランとギャラリーび～たは本年いっぱい現在のビルから退去することのこと。コロナが収まり旅行が自由になるまで一時休止する時間が必要なかもしれませんね。創立50周年のトラベルプランは100周年に向けて更なる発展のステップとして一呼吸いれる善い機会になることを願うのみです。



下芝悟さんと田中弘子さん

モロッコ紀行 田中 弘子

眩しいばかりの白と青の壁、山の斜面に家々を並べるシャウエンの街。狭い路地を歩む驢馬。モロッコへ旅したのは遥か遠い1997年。青い空の下に広がる街の路地を歩き回った記憶が鮮明によみがえる。

フードのついたゆったりとした丈の長い上着を着た男たちが座っていたり立ち話をしたりしている。長く伸びた髭、高い鼻、深い奥のまなざしがもの言いたげにこちらを見ている。市場では羊をつれた男たち。布を全身に巻きつけた女や飾りのついたつばの大きな麦わら帽をかぶった女たちが買い物に忙しい。売り手と買い手の甲高い声が飛び交う市場、羊をつれた男たち。絨毯を売っている店に入ると赤、青、黄、黒の色鮮やかな幾何学模様の絨毯がたくさん並べられている。一畳ほどの赤い絨毯を長い間手に取って見つめていると、割り引きして売ってくれた。既に青い絨毯を手に入れ、2枚は無理だと思っていたのだが。今でもその赤い絨毯は愛用している。洗練されたその美しい色彩は今も色あせることはない。



坂道の路地は石がごろごろしていて狭いので驢馬が荷を担いでゆっくと歩いて行く。驢馬や馬が休んでいる駐馬場(私の造語)もあった。

街の高い山の方に泉があり、その豊富な水が流れ落ちる音が絶えず響いてくる。川の中流に洗濯場があると聞いて、その洗い場に辿りつくと、白地に赤の縦縞模様のフータと呼ばれる布地をスカートのように腰に巻きつけた女たちが担いできた白い大きな荷から洗濯物を取り出して洗っていた。井戸端会議が行われているのだろう。「ただひたすらに美しい」と画家ドラクロワの心をとらえたモロッコ。

生き生きとした人々との出会い。旅の楽しみは格別なものである。トラベルプランのスケッチツアーで行ったモロッコは、今も私の脳裏に鮮やかに浮かび上がる素晴らしい旅であった。

これからも皆様のお役に立ちたい！ 八田 茂伸

この場所での展示も残すところ3週間、4つの展覧会のみとなります。毎日すてきな作品と共に、いつでも気軽に遊びに来ていただけるギャラリーび〜たが一時休廊となるのはとても寂しい思いです。今まで本当にたくさんの方々から作品を展示して頂き、またたくさんの方々から作品をご覧いただく事ができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今はただ、コロナ終息後に新しい場所で再び皆様をお迎えできる日を心待ちにしております。その日まではインターネットを通じてお楽しみ頂きたいと思っています。

今年はコロナ禍で一度も海外に行く事もできず、日本で過ごす毎日です。移転が決まり、これからのどのような形で皆様にご紹介する事が最適なのか？ 試行錯誤しながら考えている所です。

ここ数年でインターネットやスマートフォンがかなり普及し、少し前まで『私はまだガラケーなの！』とおっしゃっていた方も、続々とスマホデビューしているようです。先日は90代の方がスマホデビューした！とお知らせ頂きました。

今、模索しているインターネットを利用したご紹介は、コロナ禍がなくても取り組まなければいけなかったことなのです。ギャラリーも一時休業となり、旅行ができない今の時間は、神様がくれたプレゼントのようなものだと思い始めました。今まで通り、ギャラリーも旅行も続いていたら、決して取り組む事ができなかったでしょう。下芝さんのコラムにもあった通り、まさに100周年に向けて必要な時間なのかもしれません。

インターネットを利用した取り組みは、ギャラリーび〜たが再開した後も続けます。実際の展示とインターネットの取り組みで、コロナ後は今まで以上の発表・発信ができると思います。

これからも進化し続けるトラベルプランとギャラリーび〜たをどうぞ宜しくお願いいたします！

ギャラリーび〜たの一時休廊中、展示会場をお探しの方は、お気軽にご相談ください。京橋エリアには私たち以外にもすてきな画廊がたくさんありますので、ご紹介させて頂きたいと思っています。

そして、毎月発行の『び〜た NEWS』は今回が最終号となりますが、今後は不定期発行のび〜た NEWS をお届けし、今まで以上にお楽しみ頂きたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

注目の展覧会情報

「醍醐芳晴と笠井一男 水彩展 ～二人の画家が魅せる水彩の技～」

場 所 サブウェイギャラリー M
【横浜】みなとみらい線 みなとみらい駅 中央改札口 1分
期 間 12月16日(水)～12月25日(金)
時 間 11:00～17:00(会期中無休)

透明水彩で活躍する醍醐芳晴先生と笠井一男先生によるコラボ展覧会。すてきな新作水彩画がならびます。

《ギャラリー び〜た 友の会》 担当：八田 茂伸 / 井上 綾 / 下芝 悟 / 田中 弘子
〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-5 京橋富士ビル (株式会社トラベルプラン内)
電話：(03) 3561-5050 FAX：(03) 3561-5051
ホームページ： <http://www.travelplan.co.jp> e-mail： vita@travelplan.co.jp